

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

職員数
 管理者兼児童発達支援管理責任者 1名
 保育士 常勤 2名 非常勤 2名
 児童指導員 常勤 1名 非常勤 1名
 指導員 常勤運転手と兼務 1名
 非常勤運転手と兼務 1名

回答者 7名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7				国の設置基準である児童一人当たりの基準をクリアした集団活動をおこなえるスペースを確保しております。 死角のない指導員の目の行き届く空間となっております。 また、敷地内にお庭のスペースも設備しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	7				*児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。保育士、児童指導員など児童、福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に務めております
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7				段差のないフラットな施設となっております。利用されているお子さまにとって活動が分かり易いよう構造化した活動を今後とも心掛けてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7				毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。 24時間常時空気清浄機をつけ、冬場は加湿器を設置しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2		2	PDCAサイクルを心がけ職員指導にも努めております。 非常勤の職員も深く参画ができるよう努めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			1	今回が初めての事業所評価となります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		1	2	今回が初めての事業所評価となります。 ホームページ上に結果を掲載するとともに、保護者さまへ紙面での結果の配布を行います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5			2	保護者さまの評価と社内評価のみとなっております。 今後、必要に応じて外部評価の実施を検討して参ります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		1	3	今後さらなる外内部の研修参加により質の向上に努めて参ります。
適	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7				利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。 外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7				ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				児童発達支援計画(個別支援計画)に沿った支援を行っております。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など	
切な支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			1	職員間で共通の目標をもって取り組むことを目指しています。複数の視点から検討ができるよう意見を出し合っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				子どもの様子に合わせ職員の役割やサポートの仕方を話し合っています。一人一人の発達の状況に応じた課題設定となるよう努めています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7				一人ひとりの発達に応じ、集団適応・社会性の視点を持ちながら児童発達支援計画(個別支援計画)の作成に当たっています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		1	一日の流れや役割分担、支援方法、配慮が必要な点などを確認しています。子どもの様子や支援の振り返りを行い個別に記録しています。それらを次回の活動のステップアップや改善につなげています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1				
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7					
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			2	6か月に一度見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など適任者を選ん出席します。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			2	必要に応じて幼稚園、保育所や他施設との連携を図れる体制を整えております。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					対象児なし	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					対象児なし	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1		2	移行先や保護者さまの要望に応じて情報提供を行っています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1		2	移行先や保護者さまの要望に応じて情報提供を行っています。まだ、開所したばかりで1名の実績のみである。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		1	2	障がい福祉人材育成・研修センター主催の研修を必要に応じて受けています。今後、非常勤職員の受講も計画します。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5			2	コロナウイルス感染症流行後は、園などが外部との交流を中止しておられます。その為、地域交流などで地域の児童の集まる場へ参加し障がいのない児童との交流を図っています。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3			1	3	要請があれば参加する体制はあります。関連するものとして、泉大津障がい児を豊かにする会に参加予定にしています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7					子供の状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6				1	職員はペアレントトレーニングの知識を習得できるよう研修等への参加など検討しています。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7					契約時に説明をさせていただいております。また不明な点は随時職員が説明をさせていただいております。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など	
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			1	ガイドラインに基づいて作成し、半年を目安に定期的にモニタリングを行い、支援内容を説明し同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				希望に応じて相談を受け付けています。また定期的なモニタリング時に相談の時間も設けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		2	1	6月に保護者会を開催予定しております。本年は、5月時点で児童の世帯数が2件と少なかった為、少数交流のみで茶話会の開催はしていません。次以降は、交流が図れるよう開催してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7				公式LINEの他、毎月のお便りなどを配布しています。活動の概要などは、予約表別紙に連絡事項として載せています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7				個人情報が記載された書類は鍵付きの棚に保管しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			1	その日に取り組む教材が視覚的に分かりやすくなるよう配置するなど、伝える方法をお子さんや保護者に合わせるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		2		夏祭りや、流しそうめん大会、ハロウィンパーティーなど地域の住民の方にご参加いただけるよう考えています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			1	職員へは事業所内研修などで周知の他、会議などでの周知しています。保護者さまには、契約時に緊急時の対応などについてお伝えしておりますが、今後も周知・訓練について日々改善に努めてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			1	大きな訓練は年に3回行っています。その他、日常の活動で避難時の経路を使用した移動など訓練に努めています。災害発生時の備えなどについても、備蓄品の確認など定期的に行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			1	保護者さまより健康状況を聴取し把握に努めています。また、必要に応じて聞き取りを行っています。今後も児童の健康上の配慮や注意点について、職員全員が意識できるよう定期的な確認と周知を行っていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7				食事提供はありませんが、アレルギーがあれば活動には取り入れないようにしています(小麦粘土など)。必要に応じて、服薬・投薬・緊急搬送先などの取り決めを保護者と行います。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7				危険な事例があった場合、特定の報告書に記載しミーティングを通して職員で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		1	1	外部研修の参加の他、事業所内でも研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4		1	2	身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すこととしています。また、保護者さまにはそれらを契約書に記載し説明しています。 *対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。 現在、必要となる児童はいません。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。